

第 2 回 区 民 会 議 審 議 概 要 (抜 粋)

< 「地域における子育て応援体制づくり」 >

【アンケート】

- ・資料2の問7の選択肢に「老人いこいの家」を、問11の選択肢に「町内会掲示板」「回覧」等を加えてほしい。
- ・アンケートをとるのもよいが、今すぐ専門医や保健師等に相談したいと願う住民も多々いる。アンケートの余白に緊急時連絡先等の附帯事項を記述するなどして、困っている方々に手を差し伸べるべきではないか。
- アンケートの配布は各種イベントと重ならないように、なおかつ保健所でのイベントとは重なるよう事務局で調整願いたい。
- ・イベントでアンケートを配布すると、回答者が偏るのではないか。アンケートの内容そのものは大変結構なので、乳幼児を持つ家庭全部に配布し、一番よいデータを取り寄せるやり方が本来ではないか。
 - 仮に保健所から乳幼児を持つ家庭全部にアンケートを送付しても、それを返信するのに莫大な費用がかかるし、そうしたからといって、アンケートを100%回収することは不可能である。
- ・中原区内にある子育てサロン15カ所で一斉にアンケートをとってはどうか。
 - 乳幼児を持つ家庭全部が子育てサロンに来るとは限らないし、定期的に同じ人が来る子育てサロンよりは、区役所での健康診断時にアンケートを配布したほうが普遍的な可能性が大きいと思う。
- ・「地域における子育て応援体制づくり」の対象は、当初小中学校進学児を抱える家庭への手助けが本来ではなかったか。とすれば、教職員組合を通じたり、小中学校に直接要請したほうが、より本来的なターゲットの意見を吸い上げることができるのではないか。
 - 小中学生は全くの別問題となるので、余り対象範囲を広げず、まずは乳幼児、未就学児を対象として行い、その結果を見た上でゴーサインを出してもよいのではないか。区民会議としては、まずはできる範囲でやっていきたい。
 - ターゲットを絞るのであれば、その範囲で議論するのはやぶさかでない。

資料2

資料3

【ウッドデッキの活用】

- ・子育て世代の親子を対象とした交流企画を提案したい。私自身、中原区で「こころとからだをHUGくもう！の〜びのび親子講座」「なかはらマタニティコンサート」等にかかわっており、同時に小杉駅周辺の再開発に伴う新たな住民には子育て世代が大変多いことから、「地域における子育て応援体制づくり」の環境整備は大変重要と考える。そのような中、今回は区役所内のウッドデッキを活用した「ミニコンサート&カフェ企画」なるものを提案してみたい。
- (仮称)子育て世代向け交流コンサート&カフェ企画として、開催日時は区役所での健診やイベントとの併催が効果的と考える。開催場所は、区役所内のウッドデッキを生かしていきたい。目的は、子育て世代の方のための交流や情報交換の場を創出し、新たなコミュニティーの形成を目指すものである。内容は、子育て世代の親と子供になじみやすい内容のコンサート、簡易的なカフェを設置し、コーヒーやお茶を楽しむながらくつろげる空間や中原区の子育てに関する情報の提供である。
- 本企画のポイントは、開催のタイミングを区役所で定期的に行われる健診やイベントと併催することにある。従前、健診が終われば帰途につくしかなかったところに、本企画をぶつけることで一定の集客が見込めるとともに、地域のイベントへ踏み出す第一歩、きっかけになるのではないか。また、本企画は当初コンサートのみでの手法を考えていたが、カフェの手法を取り入れることで、よりくつろげる空間、リラックスしたコミュニティーの形成に効果的と考える。
- 実施に当たっての必要な作業は引き受けさせていただくので、より具体的に実現可能な企画とするための意見を各方面から賜りたい。
- ・(仮称)子育て世代向け交流コンサート&カフェ企画は、ポリオ検診受診後、規則で30分近く区役所から出られない母子等に有効な手法と考える。
- ・定期健診は何歳ぐらいの子供が受診するものなのか。
 - 定期健診の種類は、3・4カ月、1歳半、3歳児健診がある。また、ポリオ検診は1歳半程度までの段階で受診される方が大多数である。
- ・我々区民会議は、余り背伸びせず、できる範囲で手伝えればよいのではないか。試行錯誤しながらゆえ、失敗も考えられるが、失敗を恐れていては何もできないので、まずは始めてみるのが大事である。

資料4

<区制40周年について>

- ・第3期区民会議委員も今期で終了となるので、市民報告会で特別イベントとして講演会のようなものを催してはどうか。
- ・区制40周年を振り返った写真集の発刊や各事業に「区制40周年」の冠をつけるなど、区制40周年記念シンポジウム報告会のようなものを催してはどうか。また、区制40周年のパナーなどを張ったりするのも1つの方法と思う。
- ・中原区は、区制40周年を迎える5区の中でも中心的な区であった。現在人口が急増し、若い世代が多い区となりつつあるので、大いにアドバルーンを上げたほうがよいのではないかと。また、なかはらっぱをもっとメインに押し出していきたい。
- ・なかはらっぱは、まちづくり推進委員会が主に運営しているのか。
 - ある程度自主団体の体をとっている。なかはらっぱ祭りも所属団体の自主活動の体をとっている。
- ・区制としては40周年であるが、高津区は分区されただけなので、市全体としてはどう取り組もうとしているのか。写真集云々の話もあるが、余り大上段に構えるのも行き過ぎに感じる。また、人口が急増しているとはいえ、直近に転入してきた住民にとっては、区制40周年といえども余りインパクトはないのではないかと。
- ・再開発の新住民、主にマンション住民は地域の情報を食欲に欲しており、NPOでも1度、地域の商店街をまとめた冊子を全戸配布したところ、非常に喜んでくれた。予算の絡みもあるので、区制40周年とはいえ大々的にやるのではなく、地域情報を集めて出すようなものであってもよいと思う。
- ・区民会議は試行から数えて8年の歴史がある。その間、改善された点をもっとアピールすべきである。また、区民会議では区民委員の意見しか出てこないのか、区内各所に出張して区民懇談会のような意見を言い合える場を設けてはどうか。
- ・区制40周年として、区切りの年にイベントを開催するのは素晴らしいことと思う。区民会議での実績、事業を組み込んでいけば、素晴らしい区制40周年イベントになるのではないかと。
- ・区制40周年を契機に、今まで区民会議で取り組んできた事業を検証し、今後力を入れていくべき事業の方向性を模索してはどうか。
 - 当初の区民会議は、意見や検討、審議をする場であるとの立場をとっており、実際に動くことは余りなかったが、最近はいろいろな活動が目に見えるようになってきたせいか、区民会議への理解度が上がったように思う。
- ・企業型の区制40周年事業に向けて取り組んでいきたい。
- ・商店街は今、役員のなり手がおらず、大変困っている。商店街として協力したいのはやまやまだが、各店主としては自分の商売をほうり出してまで参加できないのが実情である。

資料 5

<区民祭への関わり>

- ・区民祭では区制40周年に絡めたセレモニーを行うのか、また、区民会議としてはどう絡むのか。
 - 区民祭は実行委員会形式でとり行っている。来年は区制40周年の冠をつけた大会にしたいと考えている。区民会議からの提案も、来年の今ごろから始まる区民祭の検討の中で考えていきたい。
 - 区制40周年事業である写真集の発行は、7月に第1回編集委員会を立ち上げており、区民から昔を懐かしむ写真を応募していただき、写真集を今年度内に編さん、印刷、製本し、来年度販売予定である。また、来年3月に写真集発行を記念してイベントを企画している。
- ・区民祭で中原区区民会議のテントを設け、区民会議8年の歴史を皆に紹介し、来年度に向けた事業としてはどうか。また、ミニ区民会議を開き、今までの中原区、今の中原区、これからの中原区をテーマに取り上げてもおもしろいのではないかと。